

## 第 32 期 第 3 回 理事会 議事録

日時：2021 年 9 月 29 日（水）20:00~22:10

場所：Zoom（オンライン会議）

出席者（50 音順、敬称略）：浅海、荒木、江口、加藤、楠本、久保、坂本、佐藤、中谷、西、樋上、深井、本田、増田、守田、山下、山瀧、山本、荒武（記）

欠席者（50 音順、敬称略）：藤野

オブザーバー出席者（50 音順、敬称略）：池上、岡原、喜多村、倉岡、橋元、堀江

### 1. 会長挨拶（西）

- ・職域接種のアンケートなど、メーリングリスト（以下 ML）を通じた活動が目立った。
- ・ML 上での議論が深まることは大変有意義な一方、時に激しい表現となってしまうことがあり、会員各位の良識ある利用を希望する。
- ・櫛風会懇親会に出席、挨拶した。
- ・産業保健学部関係の情報提供研修会に参加した。
- ・労働衛生会館を訪問、挨拶した。
- ・第 33 回全国大会について、実行委員長として、準備を行っている。
- ・今回の理事選挙においては、各学部学科からまんべんなく、そして、女性理事を増やすことを考え人選した結果となっていることをご理解いただきたい。

### 2. 第 12 回理事選挙結果（加藤）

- ・9 月末の任期満了に伴い、理事選挙を行った。
- ・自薦・他薦者があり、定員を超えた候補者がなかったため、投票を経ずに当選が確定した。
- ・9 月 4 日、ML で公表した。

### 3. 大学の近況（堀江）

- ・病院新棟が建設中である。産業医学臨床センターを備え、産業医活動の広がりに伴うアドバイスなど、サポートを行うとともに、従来実施してきた若手および中堅産業医に対する能力向上研修も更に充実させる。10 億円を目標に、寄付金を募集中である。会員各位の寄付をお願いしたい。

[https://www.uoeh-u.ac.jp/University/Corporation/k\\_kifu.html](https://www.uoeh-u.ac.jp/University/Corporation/k_kifu.html)

- ・医学部入試について、推薦枠が従来の 20 名から 25 名へと増える
- ・産業衛生科学科の入試を東京会場でも実施する。同会場での受験生や保護者に PR する場があれば、ぜひ、紹介してほしい。
- ・医学教育カリキュラムについて、日本医学教育評価機構（JACME）による認証評価に向け、実習を増やすなどの改訂を行っている。
- ・産業医の養成について、卒後修練におけるメンター制度、キャリア形成プログラムの導入、産業医事例の書籍構想が進んでいる。

### 4. 会計（守田、本田）

- ・現時点での収支は約 20 万円の赤字となった。予算では 120 万の赤字予定であり、会費納入率向上、

会員数増加による収入増加、理事会企画支出が抑えられたことが要因。

- ・業務委託により、本来の会計業務に注力することができ、助かっている。これまでの委託実績を踏まえ、今後は、委託料を削減できる可能性がある。
- ・慶弔や理事の出張などの支出があった。

## 5. 地方会

### 1) 関東（坂本）

- ・2021年7月10日、研究会（渋沢栄一の「論語と算盤」で未来を拓く）をオンライン開催、参加者43名。
- ・来年の第34全国大会を関東地方会幹事により開催予定。今後、3学年制で幹事を担当する。
- ・次期より会長を交代する。後任は小笠原隆将先生（医27期）

### 2) 九州（浅海）

- ・2021年9月3日、九州地方会セミナー・交流会「産業医経験で学んだこと」を産業生態科学研究所、オンラインのハイブリッドにて開催。修練医や学生といった若い世代と交流を深める目的に、初の試み。
- ・2021年10月9日、研究会「災害と産業保健」「ナッジ」「DX」を第39回産業医科大学学会と共同開催予定（ラマツィーニホール、オンラインのハイブリッド）。

### 3) 近畿（深井）

- ・2021年8月28日、研究会「コロナ禍での産業保健活動」を開催、参加者24名。懇親会では初めて試みとして、nonpi foodboxのサービスを用いて事務局より食事の提供が行われた。同じ食事をすることでオンライン懇親会ながら、いつも以上に盛り上がった。

### 4) 東海（西）

- ・2021年8月21日、第24回研究会（産業保健師としてのキャリア形成）をハイブリッド開催、参加者37名。
- ・第25回研究会を2022年2月頃開催予定。
- ・東海ほけんの会（保健学部向け）を10~12月で開催予定。

## 6. 部会

### 1) 総務（佐藤、中谷）

- ・総会員数 859名、直近1年間で新規登録会員51名。
- ・2021年9月21日、メールにて評議員、役員解任などに関する会則改定の臨時総会を開催した。会員から特に異論はなかった。
- ・評議員、功労賞などに関する細則を改正した。
- ・功労賞について、本年度受賞者を本理事会で決定した。来年度以降は評議員からなる選考委員会等を設立して選出する。今後、グループとして受賞する場合で、グループ内に産推研以外のメンバーが含まれる場合の扱いについては、別途検討する。

### 2) 学術（江口、久保）

- ・産業医科大学学会学会賞の産業保健分野の推薦窓口となる。

### 3) 研修・教育（増田、樋上、楠本）

- ・第33回全国大会の内容を企画している。

- ・年1回の研修・教育を検討する。

#### 4) 広報（山瀧、山下、山本、荒木）

- ・MLについて、運用細則を整備し、ML運用責任者の窓口を設けた。
- ・理事を中心に Slack を試用中。
- ・広報用のメールマガジンを検討中。

#### 7. 櫻風会（樋上）

- ・8月21日に総会・懇親会をオンラインで開催、参加者60名。懇親会に西会長が参加した。次回以降もオンラインまたはハイブリッドで開催予定。

#### 8. 第33回全国大会（西）

- ・第2部 鼎談、第3部 シンポジウムについて、論点案を検討している。
- ・多くの会員に参加していただきたい。

以上